

数学

広島大学 II B型 (前期日程)

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	4題
------	------	-------	----

解答形式

記述形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

データの分析が出題され、確率の出題がなかった。

その他トピックス

昨年同様、数学Ⅲ型との共通問題が2題あった ([1] と [3])。

どの大問も3問以上の小問からなる。今年ほどの大問も (1) はかなり解きやすく配慮されていた。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	データの分析	I	変量変換による分散、共分散、相関係数の値	標準
[2]	積分法	II	1/6 公式、定積分の値の最小値	標準
[3]	空間ベクトル	B	平面に関する対称点	標準
[4]	図形と方程式	II	放物線と円の共有点の個数	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な考え方の問題が中心であるので、各分野の基本事項を身につけ、典型的な問題については誘導がなくても解けるようにしておこう。

融合問題も多く出題されているため、単元を超えた問題演習にも取り組もう。

また、計算が煩雑な問題もあるため、普段から最後まで計算しつくすようにしておこう。